



日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

2019年度
春季大会

2019年5月18日(土)・19日(日) 甲南大学

5月18日(土)

口頭発表	A会場 1号館2階121講義室	B会場 1号館2階122講義室	C会場 1号館3階132講義室	D会場 1号館3階133講義室
	司会: 江口 正	司会: 島田 泰子	司会: 高田 三枝子	司会: 新野 直哉
13:30 ~ 14:10	接続表現「ばかりに」 の意味分析 趙 妍姍	日本語接続詞「で」 の成立—文法化の 観点から— 百瀬 みのり	同一複合名詞のアク セントの融合・非融合 の使い分けに影響 する文脈的要因 陳 曦	国語辞書と新聞の 使用実態に基づいた 日韓外来語の生産性 に関する研究 林 廷修
14:20 ~ 15:00	接尾辞「上(じょう)」 を後要素とする語の 機能—機能の移行 と移行の条件に ついて— 張 希西	無助詞名詞の統語 的機能—平安期 散文資料を中心 に— 山田 昌裕	琉球八重山白保方言 のアクセント体系は 三型であって、二型 ではない 中川 奈津子 セリック・ケナン	現代日韓両言語に おける「観察視点の 状態表現」に関する 研究—かたりの時間 的構成を中心に— LEE GYEONGMIN
15:10 ~ 15:50	名詞文にみられる 属性叙述の3タイプ —統合関係に着眼 した分析を中心に— 中村 真衣佳	国会会議録にみら れる「く入れ言葉」 の使用実態に ついて 浅川 哲也	長崎県五島列島諸 方言における*rVの 変化過程の再建 中村 京介	現代日本語にあって 現代中国語に欠落し ている字順の逆転する 二字漢語「AB—BA」 の出自について—国語 辞典の初出例の出典 の問題— 馬 雲
	司会: 森 篤嗣	司会: 森山 由紀子	司会: 加藤 大鶴	司会: 金子 弘
16:10 ~ 16:50	排他的限定を表す 副詞の意味用法を めぐって 吳 慶霞	使用実態から見た ハズダのジェンダー 性について —「ハズ。」と「ハズよ」 を中心に— 陳 秀茵	地名漢字「須磨」を 用いた景観文字の 研究 岡墻 裕剛	明治期における漢字 存廃論と言文一致論 の関係の推移につい て—近代日本における 漢字と日本語の関係 変化を射程にいれて— 張 雄善
17:00 ~ 17:40	コーパスとクラスター 分析を用いた副詞 の文体調査 中俣 尚己	自然談話に見られる 否定疑問文の形式、 使用数、相互作用に おける機能 ポリ・ザトラウスキー	森重敏の万葉仮名論 は果たして五母音説 なのか? 安田 尚道	近代における和語 動詞の主要表記の 交代 高橋 雄太
	5号館 カフェパンセ			司会: 新井 小枝子
18:00	懇親会			

2019年5月18日(土)・19日(日) 甲南大学

5月19日(日)

ブース 発 表	E会場 3号館3階331講義室	F会場 3号館3階332講義室	G会場 3号館3階333講義室
	担当：竹田 晃子		
10:00 ～ 11:00	『国語年鑑』の分野区分に みる研究動向の変遷 八木下 孝雄	疎の関係の人物への依頼 場面で使用される許可求め 表現に関する実態調査 辻岡 咲子	『現代日本語書き言葉均衡 コーパス』新聞・書籍・雑誌 データの助動詞に対する 用法情報付与 加藤 祥, 浅原 正幸 山崎 誠
	H会場 3号館3階334講義室	I会場 3号館3階335講義室	J会場 3号館3階336講義室
	担当：金 愛蘭		
	『日本語歴史コーパス』 への追加情報の付与 と共有 ―中古和文の 「る」「らる」を例に― 小木曾 智信	コーパスを使った方言研究の 開拓―『日本語諸方言コーパス (COJADS) モニター版』を 使って― 大槻 知世, 上村 健太郎 カルリノ・サルバトーレ 佐藤 久美子, 中澤 光平 木部 暢子	国立国語研究所収蔵音声・ 映像資料と試視聴システム 高田 智和, 石本 祐一 関川 雅彦
1号館4階142講義室			司会：青木 博史
12:00 ～ 12:40	会長対談 —阿辻哲次氏を迎えて— 京都大学名誉教授・日本漢字学会会長 日本語学会会長 阿辻 哲次 金水 敏		
司会：日高 水穂			
12:40 ～ 13:00	大会式典 会長挨拶 会場校挨拶 学会賞授賞式 会長 金水 敏 甲南大学長 長坂 悦敬		
13:00 ～ 13:20	会員総会		
1号館4階142講義室 企画担当・司会：小田 勝, 辛島 美絵		1号館4階141講義室 担当：齊藤 美穂	
13:30 ～ 16:30	シンポジウム 現代語—古代語 対照文法の可能性と課題 文法の史的対照は何をもたらすか —「連体ナリ」と「ノダ」の比較— 福井大学 高山 善行 現代京都市方言と平安時代語との対照研究の可能性 成城大学 竹内 史郎 現代語から出発する古代語との対照文法の可能性 国立国語研究所 野田 尚史		ワークショップ 『日本語歴史コーパス』の今とこれから 小木曾 智信, 松崎 安子, 村山 実和子 近藤 明日子, 南雲 千香子, 高田 智和 片山 久留美